

三瓶こだま学園

大田市山村留学センター

日本一高齢化が進む島根県にある8つの市のなかでも、高齢化率32.8%（平成17年）と最も高齢化が進む大田市。

しかし、大田市には、素晴らしい自然と文化がある。世界遺産登録により石見銀山が一躍有名になったが、忘れちゃいけない、大田市には三瓶山と日本海がある！この地域資源を活用し、子どもたちに自然文化体験と集団生活体験を通して**生きる力**を身につけてほしいとの思いで、3年前に三瓶こだま学園がスタートした。

田舎と都会、そして世代を越えた交流を通じ、多くの笑顔が花開き、いま、その輪は全国へと広がりとつある。

三瓶こだま学園

三瓶こだま学園（大田市山村留学センター）は、平成16年4月に開園し、今年で4年目になります。今年度は東京都や三重県など1都2府6県の小学4年生から中学3年生までの子どもたち17名が一年間の長期留学をしています。留学生は、センターと北三瓶地区の受入農家で交互に生活しながら、北三瓶小中学校に通っています。センターでは、（財）育てる会の指導員3名が、子どもたちと寝食を共にしながら活動、生活両方の指導を行っています。

センターでの日々

センターでの生活は、朝6時に流れる音楽で始まります。この音楽で全員起床し、着替

えを済ませた子から前庭に出ます。ラジオ体操した後、正面に見える三瓶山に向かって「おはようございます。」と大きな声で山彦あいさつをします。その後、近所の酪農家さんに牛乳をもらいに行ったり食事の配膳をして朝食をとります。

そして、約2キロの道のりを北三瓶小中学校に歩いて通います。学校が終わるとまた同じ道を歩いてセンターまで帰り、学校の宿題をしたり、自分が着た服を洗濯したりします。お風呂に入った後に全員で夕食を食べ、その後全員で分担して掃除をします。掃除の後には就寝まで自由時間ですが、週に2回は地元の子どもたちも参加して太鼓の練習をします。

センターでは、洗濯、食事、掃除などの基本的な生活習慣を身につけることを目的の一つとして、自分の生活に関わることは自分で行います。また、センターにはテレビがありません。もちろんテレビゲームもありません。ジュースやスナック菓子などの間食や金銭も排除した生活を送ります。子どもたちが自ら体を動かし自然に触れる機会を奪っているこれらのものを排除するこ

とで、子どもたちに我慢することの大切さを伝えるためです。そして、常に集団で生活するため、いくつものマナーやルールを守っていかなくてはなりません。このことを3人の指導員が子どもたちに指導していきますが、併せて2年、3年と継続して留学している子どもたちが新たに留学してきた子どもたちに教えてくれます。

自然体験活動

週末には、田畑の作業やしいたけの植菌、みその仕込みなどの生産体験活動や、静間町和江での漁師体験、三瓶山周辺での酪農体験、キャンプや海水浴、釣り、スキーなど大田の自然を活かした自然体験活動を行っています。

（左頁上へ）



「生き生きと生きる子ども」を目指して

センターでの集団生活を通じ、基本的な生活習慣を身に付け生活力を向上させ、我慢することの大切さを学ぶことで、心のゆとりと行動の自由が生まれると考えています。

心の状態を養いつつ、さまざまな自然体験活動を行い、自然への興味をかりたてます。自然の中で活動の楽しさに目覚めた子どもには、個人の求める活動を思う存分させます。

このことにより、「生きる力」を身につけた子どもたちが生まれると考えています。

私がこの半年間で成長した
 と思う所は、何でもチャレ
 ンジするという所です。もう
 今年で本当に最後だから、や
 り残しのないように。そうい
 う気持ちがあったから、今年
 はいろんな機会があれば挑戦
 しました。……今までの
 私なら、誰かがやるならと
 か、心の中で消極的な気持ち
 があったと思います。挑戦す
 ることによって、自分の体験
 になり感動になる、そして新
 しい発見をするということが
 分かりました。

「心の収穫作文集」より



田は、山口町徳原でお借り
 して耕作しており、畑はセン
 ターの敷地内にあります。
 田の作業は、代かき、田植
 えから稲刈り、脱穀まで留學
 生が手作業で行います。5月
 の連休には留學生の保護者が
 来園し留學生といっしょに田
 んぼに入り代かきをしました。
 田植えや稲刈り、脱穀は、留
 學生の受入農家さんや地元
 の皆さんにも来ていただきました。
 畑は、1人が1畝ずつもら
 い自分の好きな野菜を作りま
 す。長雨や台風などの影響を
 受け野菜が十分に育たないこ
 ともありますが、一生懸命自
 分の畝を管理しています。

自然から学ぶ

センターでは自然体験活動
 の一環として、さまざまな

キャンプをします。
 キャンプをはじめは日中だけのデイ
 キャンプで基本的な技術を身
 につけます。カヌーキャンプ
 や海でのキャンプ、雪中キャ
 ンプなどさまざまなキャンプ
 をして、少しずつ色々な技術
 を身につけ、最後に一人でテ
 ントを設営し、一泊して食事
 を作るソロキャンプで締めく
 くりとなります。
 はじめは一人で火がつけら
 れなかった子どもたちも先輩
 などに教わり、ソロキャンプ
 では一人で火をともします。
 このような生産体験や自然
 体験の活動を通して食べ物や
 自然の恵みに感謝するととも
 に子どもたちの自信につな
 がっています。



山村留學センターの今後のイベント・活動

- 収穫祭(参加自由)
 ○日程 11/17(土) 13:00 ~ 17:30
 11/18(日) 10:00 ~ 14:30
 ○会場 大田市山村留學センター(山口町山口 1694)
 ○内容 17日~留學生の個人研究・太鼓、劇などの発表
 18日~留學生の保護者・地域住民による模擬店、バザー
- 冬休み自然体験活動
 学校の冬休みを利用して自然体験活動を行います。
 普段は体験できないようなことに挑戦してみませんか。
 ○日程 12/26(水)~30(日) 4泊5日
 ○対象 全国の小学2年生~中学3年生
 ○内容 正月グッズづくり、雪遊び、山村生活体験、食文化体験など
- 問い合わせ・申し込み
 山村留學センター 〒694-0002 島根県大田市山口町山口 1694
 TEL 0854-86-0700 FAX0854-86-0701
 URL <http://www.iwamigin.jp/ohda/sanryu>
 E-mail o-sanryu@iwamigin.jp